



☆教区典礼研修会（講師 白浜 満 広島司教）動画配信（概要）

2020年10月25日（日）「ミサに集まって祝うことの意味」

（その3）

（3）ミサは教会の行為である。

開祭

- ①主イエスを迎える（心の準備） 祭壇、ろうそく  
祭壇：復活されたイエス様がおられる。一礼を行う。  
叙階された者（司祭）は祭壇に手を触れる→イエスの代わりとなる。
- ②主イエスのみ言葉を聞く→み言葉を味わう
- ③主のいけにえを捧げる→主とともに自己を奉納する
- ④イエスの食卓を囲む（黙示録第3章20節）  
「私は門の外に立って扉をたたいている。誰か私の声を聞く人があれば  
中に入って食事をする。」
- ⑤聖体拝領 与え尽くす愛：聖体（御体）と御血（復活されたイエス）  
イエス様を中心として、教会共同体の絆を深める。  
イエスの再臨（ヨハネ福音書第15章2節）：私はぶどうの木、  
あなたがたは枝、私につながっていなさい。  
私もあなたがたにつながっている。→実を結びたい。
- ⑥イエスと一緒に出かける（派遣の祝福）  
神の国の完成のために派遣する→イエス様から派遣される。

コメント☆ミサのオンライン配信は便利だが、あくまで補助的な手段である。

2 「ミサ典礼書（決定版）についての動き」

（カトリック中央協議会典礼委員長）

1975年3月 ローマミサ典礼書（ラテン語規範版第2版）

1978年12月25日 同（日本語版）発行、今年で42年間経過

2002年3月 同（ラテン語規範版第3版）全1400ページ

2014年5月 新「ミサの総則」の認証：ミサの動き、動作について記述

2015年11月 新「ミサの総則」を導入

日本の教会「立つ、座る」となる（ひざまづかない）

入祭唱、拝領唱、注釈：全ての訳（ミサ式次第全て）を行い、中央協議会で承認後、ローマ教皇庁へ申請する。 （教区典礼研修会概要 一完一）